

## 気づきから学習へ ～図書館と連携した自然体験×調べもの学習プログラム～

2012年3月15日  
日本ネイチャーゲーム協会 瀬戸正功

### 1. はじめに

日本ネイチャーゲーム協会（以下、日本協会）では、平成22年度から横浜市の「森の中のプレイパーク事業」として、図書館と連携したプログラムを行ってきました。本事業では、“気づき”を得るところまでで終わりがちだったネイチャーゲームを「調べもの学習」につなげる取り組みを行いました。ここでは、平成23年度に実施したプログラムを中心に報告をいたします。

#### 1-1. 事業の背景

横浜市では全国的にも先駆的な取り組みとして、「横浜みどり税」を平成21年度から5カ年間実施しています。

##### 横浜みどり税

○税率：個人は年間900円、法人は均等割額の9%相当額

この「横浜みどり税」による税込相当額を積み立てる基金を財源とした事業の一貫として「森の中のプレイパーク事業」が位置づけられています。

ネイチャーゲームを体験したことのある横浜市職員がいたこともあり、体験学習をとり入れた小学生対象の事業としてネイチャーゲームを活用できないかとの相談からスタートをしました。

#### 1-2. 図書館との連携

子どもの活動では、公園や里山をフィールドとすることが多いですが、この事業では「地域の図書館との連携（図書館利用の促進）」が前提にありました。各図書館では、「読み聞かせ会」などの定番行事はありましたが、野外活動イベントを行うのはあまりないとのこと。一見コラボレーションが難しそうな「図書館」と「ネイチャーゲーム」ですが、横浜市の担当者や日本協会スタッフが知恵を出し合い、事業をつくりあげていきました。

#### 関連団体と役割分担

主な団体	主な役割
横浜市環境創造局みどりアップ推進課	主催者 チラシの作成 各図書館の日程調整 活動場所の利用申請 保険の加入 教材等の購入・活動報告
各図書館	会場提供（館内会議室等） 申込受付 調査用の本を選択 本の使い方指導（当日）
日本ネイチャーゲーム協会	プログラム企画 指導員の配置 教材の作成 当日の指導

## 事業の概要一覧（23年度分）

	図書館名 (日付)	フィールド	参加 者数	テーマ	アクティビテ ィ	調べ学習テーマ
1	港南 (7/24)	図書館中庭	24	小さな虫 たち	ミステリーア ニマル	ダンゴムシ、小さな 虫
2	旭 (7/28)	近隣公園	20	クスノキ の謎	自然へのイン タビュー	クスノキ
3	金沢 (8/9)	近隣公園	16	生きもの のつなが り	フィールドビ ンゴ	公園に集まる虫たち (セミなど)
4	南 (8/12)	近隣公園	16	木の仲間 たち	めざせ名探偵	サクラ
5	都筑 (8/15)	近隣公園	16	木の仲間 たち	木の合う仲間	5本の木の特徴
6	保土ヶ谷 (9/4)	近隣公園	15	公園の色 と形	フォールドポ エム	木の季節の変化
7	神奈川 (9/17)	近隣公園	17	風と音の 通り道	目かくしイモ 虫	土地の歴史・地形、 木、草、風

## 2. プログラム企画～ネイチャーゲームと図書館をどうつなげるか？～

ネイチャーゲームと図書館をどうつなげるか？

下記のポイントを整理し、この条件をクリアしていかにかにいい体験を提供できるか？ 横浜市担当者  
と日本協会スタッフでさまざまな検討を進めていきました。

- ・3時間プログラム
- ・図書館（場）を活用する
- ・体験活動（ネイチャーゲーム）
- ・本をつかった調べもの学習

### 2-1. “名探偵”をキーワードに

一般的にイベント型ネイチャーゲームの活動では、2～3時間をかけて「気づき」を深められるプログラムを準備しますが、今回は3時間で体験（気づき）から調べもの学習（学び）につなげる必要があります。参加対象の小学4～6年生の集中力を維持しながらこの目的を達成するための工夫として考えたのが、『名探偵になろう』という“仕掛け”です。

参加者の子どもたちには広報チラシの段階から『君も名探偵になれるか！？生きもののヒミツをさぐれ！』というキャッチフレーズで興味を惹き付けます。プログラムに主体的に参加しネイチャーゲームによって自然に触れ、調べもの学習によって知識や理解を深めることで、最終的に（イベント終了時に）名探偵になれる。という設定をしました。以下が『名探偵』にからめて工夫をした点です。



写真：名探偵を目指して報告書を作成中

#### ●キャッチフレーズ

君も名探偵になれるか！？ 生きもののヒミツをさぐれ！

プログラムは「探偵活動」として組み立てられます。図書館は探偵事務所の看板を出し、スタッフは探偵事務所の所長や調査員、ベテラン探偵になりきって子どもたちに接します。

●「探偵」を軸に工夫した登場人物

参加者（子どもたち）	名探偵を目指す探偵
図書館館長	探偵事務所の所長
図書館司書	探偵事務所の調査員
ネイチャーゲーム指導員	探偵事務所のベテラン探偵

●「探偵」を軸に工夫した教材など

会場となる図書館の会議室	探偵事務所
ネイチャーゲームで接する自然	調査対象
調べ学習のシート	調査報告書
持ち物・服装	探偵の七つ道具
参加の証	名探偵認定証

●募集チラシ

**君も名探偵になれるか!?**  
**生きもののヒミツをさぐれ!**

図書館近くの立町みはらし公園へ出かけて  
 遊びを通して身近な自然を楽しもう!  
 神奈川図書館が探偵事務所だ!

**日時** 平成23年9月17日(土)午前9時30分から12時30分  
※雨天は室内で実施

**場所** 神奈川図書館集合・解散

**対象** 神奈川区在住の小学校4年生～6年生

**定員** 20名(先着順)

**申込** 平成23年9月1日(木)午前9時30分から神奈川図書館カウンター  
 または電話でお申込ください。(申込はご本人とご家族のみお受けします)

**主催** 横浜市神奈川図書館 / 横浜市環境創造局みどりアップ推進課

**協賛** (社)日本ネイチャーゲーム協会 公認ネイチャーゲームリーダー

**探偵の7つ道具(服装、持ち物)**

- 動きやすいふく(長そで、長ズボン)
- 虫メガネ(必ずつけてください)※1
- えんぴつとノート
- 顕微鏡(図書館に用意)※1
- ぼうし
- 水(図書館に用意)
- 水とタオル

※1 貸出しあり

**申し込み先**  
 神奈川図書館  
 〒221-0063 神奈川区立町20-1  
 TEL:045-434-4339

※当日7時30分まで、前日の18時30分まで、電話予約受付可能(予約受付は電話による)です。  
 ※当日は、貸出用顕微鏡(貸出し)と顕微鏡(貸出し)を各自持ち込みください。  
 ※当日は、貸出用顕微鏡(貸出し)と顕微鏡(貸出し)を各自持ち込みください。  
 ※当日は、貸出用顕微鏡(貸出し)と顕微鏡(貸出し)を各自持ち込みください。

●認定証

にん てい しょう  
**認 定 証**

様

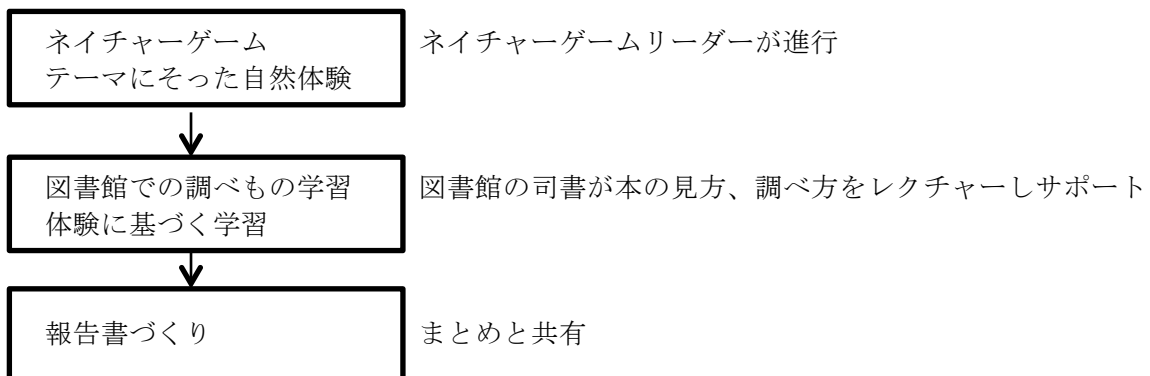
あなたはネイチャーゲーム〇〇探偵事務所にて  
 行なった、「森の中のプレイパーク生きもののヒミツを  
 さぐれ」において探偵の3つの約束を心に刻み、チー  
 ムで力を合わせて、自然の不思議を探ることに成功  
 しました。

よって、ここに「横浜みどりアップ森の中のプレイパーク  
 認定キッズ名探偵」として認定しましたことを証明します。

平成23年 月 日  
 ネイチャーゲーム〇〇探偵事務所

2-2. プログラムの基本構成

体験から調べもの学習につなげるために、以下の流れでプログラムを企画しました。



### ●ネイチャーゲーム

イベントの最初に、ベテラン探偵になりきったネイチャーゲームリーダーから参加者に「名探偵」を目指し、調査依頼を受けて報告書を作成する任務を与えます。名探偵になるための3つのキーワードを伝えます。

- ・探偵は五感が鋭い（主体性、実現性）
- ・探偵は疑問をもつ（試行性、創造性）
- ・探偵はあきらめず、また図書館で調べる（主体性）

この3つのキーワードは、ネイチャーゲームで感覚を使って自然を直接体験し、そこで感じた自然の「不思議さ」や芽生えた「疑問」について、図書館の本を使って調べてもらいたいというねらいに基づいています。

各会場とも、ネイチャーゲームは1アクティビティのみを実施しました。（※事業の概要一覧参照）



〈フィールドビンゴ〉生きもののつながり調査中！

### ●図書館での調査（調べもの学習）

その日のテーマをあらかじめ図書館に伝え、調査の参考になりそうな本を司書に準備をしておいてもらいます。イベント当日、ネイチャーゲームで自然を体験した後に図書館に戻り調査をはじめますが、この時に探偵事務所の調査員になりきった司書から「本の調べ方」や「知りたいことを探すコツ」についてレクチャーをしてもらいます。目次や索引を活用する方法を知ること、自分の関心のあるページにスムーズにたどりつくように、司書がサポートをします。本に親しむ、本の使い方を知ること、子どもたちの学習意欲が高まります。

### ●報告書を書くことは大切

体験、そして調査をへて、報告書を作成します。子どもたちは見たり感じたりしたことをベースに自分が調べたことを本から書き写したり、自分の言葉や絵で表現をしていきます。

ネイチャーゲームを体験することによって、身近な自然や生きものに気づくこと、感じることによって、豊かな想像力が育まれます。調査員は子どもたちの学びをリードするのではなく、アドバイスやヒントを示すことで、自分自身が理解を高める効果を図りました。

## 3. 子どもたちの反応

イベント終了後に子どもたちに書いてもらったアンケートから感想を紹介します。

Q：参加のきっかけは何ですか？

- ・名探偵になりたかったから（多数）
- ・楽しそうだったから
- ・夏休みの自由研究になるから
- ・生きものや植物が好きだから（多数）

予想どおり、『名探偵』に惹き付けられた子どもと、「生きものが好きだから」という子どもが

大多数だったようです。

**Q: 今日一番の発見、わかったことは何ですか？**

- ・ダンゴムシの脱皮やえさがわかった
- ・本を見てだんごむしのことが詳しくわかった
- ・クスノキに花が咲くことを知りました
- ・クスの葉っぱがいいにおいだったこと
- ・セミは昼間でも羽化することがわかった
- ・セミは羽化するときに腹筋をつかうということ
- ・セミの抜け殻からオスとメスがわかるようになった
- ・いつも近くにあった木の名前をしれた
- ・ケヤキにはいろんな虫がいた
- ・紅葉のしくみがわかった

自然体験で得た発見に並んで、調査で得られた知識を「わかったこと」とする子どもが多い割合でした。

#### 4. 成果

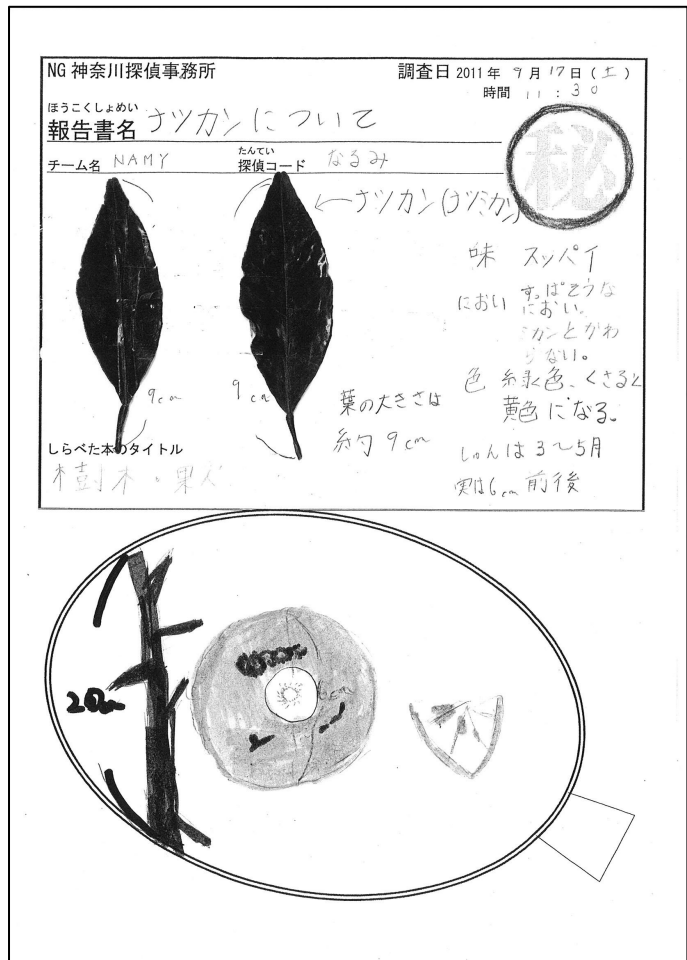
横浜市が提示する自然や生きものに対する理解を深め、森への興味を持つという「森の中のプレイパーク事業」の目標を達成するため、「小学生の自然体験」「図書館の利用促進」をうまく組みあわせて実施できたことは、一定の成果があったと思います。

##### 4-1. 身近な自然体験

夜しかしないとと思っていたセミの羽化を昼間に見ることができた驚き、近くにあった木の名前をはじめて知ったこと、ケヤキにはいろんな虫が集まってくることを発見したこと・・・どれも子どもたちと自然や地域をつなぐきっかけとなる体験になったのではないかと思います。

##### 4-2. 図書館の利用促進

参加者アンケートで「ふだん図書館にどのくらい来ますか？」の問いかけをしたところ、「今日がはじめて」「1年に一回くらい」と答えた子どもが約半数でした。普段図書館を利用しない子どもたちが図書館に足を運ぶきっかけをつくることができたこと、子どもたちが図書館の司書の顔を覚えたこと、本を使った調べ学習のポイントを学ぶことができたこと、は大きな成果であったと思います。



9月17日の報告書の例